

平成26年6月第2回幸田町議会定例会 報告 1/2

議会報告 6月定例会

平成26年6月定例会は、6月2日に招集され、23日までの22日間の会期で開催されました。報告案件3件、幸田町税条例の一部改正など単行議案5件が上程され、いずれも原案通り可決しました。また、陳情1件を審議し、不採択としました。一般質問には7人の議員が登壇。私は6月4日、質問に立ち皆さんの「声」を届け実現をするため町政を質しました。(質問と答弁内容の概要を2ページに載せましたのでご覧ください。)

単行議案 (主な議案のみ掲載)

・町税条例の一部改正について・・・(軽自動車税関係)

◇3輪以上の軽自動車 【適用】平成27年度～ 【適用】平成28年度～

区分			標準税率		重課税率(13年経過車)	
			現行	改正後	現行	改正後
3輪			3,100円	3,900円		4,600円
4輪以上	乗用	営業用	5,500円	6,900円	制度なし	8,200円
		自家用	7,200円	10,800円		12,900円
	貨物用	営業用	3,000円	3,800円		4,500円
		自家用	4,000円	5,000円		6,000円

「軽自動車税がかわります」



※重課税とは・・・
地球環境保護・環境負荷低減の観点から制定。今回は、軽自動車の新規登録から13年経過後の翌年から値上げとなる。

・火災条例の一部改正について・・・(昨年の京都府福知山市の花火大会で起きた爆発事故を受け)

改正背景

露天商のガソリン携行缶の安全管理の義務付けが無いことで、死者3人、負傷者57人が受傷。



改正概要

- ・消火器の準備
- ・屋外の催しの防火管理
- ・露天等開設の届出など



「安心して、楽しく、お祭りやイベントが出来るための条例改正です」

6月議会 一般質問に登壇 (6月4日) <質問の要旨>

①「ふるさと納税」の活用を!

「ふるさと納税制度」開始後5年間で町内へは、5件(315万円)、町外へは240件(2162万円)である。今後の制度活用のあり方等について問う。

- Q: 本町へ寄付をいただいた方へ礼状送付のみの対応だが、他の市町のように「広報誌」の送付などの「感謝の気持ちを表す」取り組みが、必要では?
A: 今後は「広報こうた」や観光パンフレットなど送る。
- Q: 本町の取り組みの、つどい作業所の「花木の栽培と販売」これを寄付者にお礼として送り、販路拡大・雇用の確保に。
A: あらゆる面から検討します。
- Q: 特産品のお礼は、町長の公約でもある「農産物のブランド化の確立」・「農業の再始動」への近道では。
A: 他の自治体でも大きな効果を生んでいる、農業振興となる可能性があり、さまざまな方策を前向きに検討。

②「住みやすさ・幸福度」の検証を!

「幸せが実感できる」まちづくりをすすめるため「町民のための町政運営」と、真に「幸せが持続的に感じられるまちづくり」に向けた施策の展開を問う。

- Q: 住民アンケート結果で幸田町が「住みやすい」84.5%が、回答した。この結果をどう捉えているか?
A: 自然・利便性など「住みやすい町」と考えている。
- Q: 市の全国「住みよさランキング」に町のランキングはないが、幸田町は、どの辺のランキングか?
A: 岡崎市、西尾市、蒲郡市などと比較しての「都市力」の5つのカテゴリーによる総合評価は、劣っているとは考えていない。
- Q: 住民の幸福実感向上を目指した、全国53市町村が加入している基礎自治体連合「幸せリーグ」に参画を。
A: 加入も視野に入れ、町にあった「幸せ」を追求していく。

＝トピックス＝

幸田町にも「ご当地ナンバープレート」登場！

町村合併60周年記念事業



デザインは幸田町の
環境キャラクター
「えこたん」です。

原動機付自転車ご当地ナンバープレートのデザインが決まりました！

- ・対象：排気量50cc以下の原動機付自転車
- ・作成枚数：200枚、ナンバー「こ・1」から発行されます。
- ・交付時期：平成26年8月1日から交付開始 締め切り：7月25日



- ※希望番号も受け付けます。
(希望者複数の場合は抽選)
- また現行ナンバーからの取替えも可能

初の開催

幸田町議会議員全員による「議会報告会」

「第1回 議会報告会」を開催しました。会場には47名の一般参加者が来場いただきました。事前準備会議を数回実施し、私は産業建設委員長として報告、質問の答弁をしました。参加者から前向きな発言が多く出され、有意義な報告会であったと思っています。



- ・開催日：平成26年5月20日(日)
- ・開始時間：14:00から15:40
- ・場所：中央公民館1F会議室



◇ 意見交換会の主な質問・意見ピックアップ ◇

Q：JR幸田駅東側の空き地の雑草処理、また駅舎整備と合わせて町の玄関としてふさわしいものにしてほしい。

A：駅のホームが小さい、屋根が小さくて雨に濡れてしまうという声がある。駅全体の改善を議会でも要望しているが、町によるとJR側は時期等を明確にした答えは無いとのことだが、議会としては、今後も継続的に粘り強く訴えていきます。

Q：町内に産婦人科が無く困っている。産婦人科の入口には、里帰り出産・アポ無しの診察は受け付けてくれない。今後、誘致の考えは？

A：幸田町同様、岡崎市においても産婦人科を廃止する病院がでている。幸田町としても医師会を通じて誘致を進めつつある。まだ具体的なものは無いが、町も議会も更に働きかけをしていきます。

住民との交流を通して、議会の機能を高め、活力ある議会に！